

平成18年5月15日施行

港湾運送事業許可基準(施設及び労働者)

2種港 三池 水俣 鹿児島

3種港 宇部 苅田 長崎 三角 大分 小野田

大牟田 伊万里 佐世保 佐伯 細島 油津

唐津 臼浦 相浦 津久見 名瀬 八代

九州運輸局

## (1)一般港湾運送事業

## ①条件なし

局名	港種	港湾	現場職員 (名)	荷さばき場 (㎡)	船内荷役		はしけ運送				沿岸荷役			いかだ運送		
					取扱量 (万トン)	労働者 (名)	取扱量 (万トン)	現場監督 (名)	はしけ 又は船舶 (積トン)	引船 (隻)	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	荷役 機械	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	引船 (隻)
九州	二	三池	6	500	15	36(24)	—	—	—	—	12	28(19)	※	—	—	—
		水俣	6	500	15	36(24)	—	—	—	—	12	31(21)	※	8	7	1
		鹿児島	6	500	15	36(24)	—	—	—	—	12	31(21)	※	8	7	1
	三	宇部	6	500	15	42(28)	5	1	1,000	☆	12	31(21)	※	—	—	—
		苅田	4	330	10	25(17)	—	—	—	—	10	25(17)	※	8	7	1
		長崎	4	330	10	28(19)	—	—	—	—	10	27(18)	※	8	7	1
		三角	4	330	10	28(19)	—	—	—	—	10	27(18)	※	8	7	1
		大分	4	330	10	24(16)	—	—	—	—	10	22(15)	※	—	—	—
		小野田	2	250	8	22(15)	—	—	—	—	8	21(14)	※	—	—	—
		大牟田	2	250	8	22(15)	—	—	—	—	8	21(14)	※	—	—	—
		伊万里	2	250	8	16(11)	—	—	—	—	8	16(11)	※	—	—	—
		佐世保	2	250	8	22(15)	—	—	—	—	8	21(14)	※	8	7	1
		佐伯	2	250	8	18(12)	—	—	—	—	8	16(11)	※	8	7	1
		細島	2	250	8	22(15)	—	—	—	—	8	21(14)	※	—	—	—
		油津	2	250	8	19(13)	—	—	—	—	8	21(14)	※	8	7	1
		唐津	2	250	8	22(15)	—	—	—	—	8	21(14)	※	—	—	—
		臼浦	2	250	8	16(11)	—	—	—	—	8	15(10)	※	—	—	—
		相浦	2	250	8	16(11)	—	—	—	—	8	16(11)	※	—	—	—
		津久見	2	250	8	22(15)	—	—	—	—	8	21(14)	※	—	—	—
名瀬	2	250	8	22(15)	—	—	—	—	8	21(14)	※	—	—	—		
八代	2	250	8	21(14)	2.5	1	500	☆	8	21(14)	※	—	—	—		

②大型機械荷役条件付き

局名	港種	港湾	取扱量 (万トン)	現 場 員 (名)	荷さば き 場 (㎡)	船内荷役		沿岸荷役	
						労働者 (名)	荷 役 機 械	労働者 (名)	荷 役 機 械
九 州	二	三 池	10	4	330	※	※	※	※
		水 俣							
		鹿児島							
	三	宇 部	10	4	330	※	※	※	※
		苅 田	7	3	330	※	※	※	※
		長 崎							
		三 角							
		大 分	6	2	250	※	※	※	※
		小野田							
		大牟田							
		伊万里							
		佐世保							
		佐 伯							
		細 島							
		油 津							
		唐 津							
		臼 浦							
相 浦									
津久見									
名 瀬									
八 代									

③いかだ条件付き

局名	港種	港湾	現場職員 (名)	水面貯木場 (㎡)	船内荷役		いかだ運送		
					取扱量 (万トン)	労働者 (名)	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	引船 (隻)
九州	二	三池	3	4,500	10	7	10	10	1
		水俣							
	鹿児島								
	三	苅田	1	1,140	2.5	3	2.5	3	1

④その他条件付き

局名	港種	港湾	現場職員 (名)	荷さばき場 (㎡)	船内荷役		はしけ運送			沿岸荷役			いかだ運送			
					取扱量 (万トン)	労働者 (名)	取扱量 (万トン)	現場監督 (名)	はしけ又は船舶 (積トン)	引船 (隻)	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	荷役機械	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	引船 (隻)
九州	二	三池	4	330	10	24(16)	—	—	—	—	7	19(13)	※	—	—	—
		水俣	4	330	10	24(16)	—	—	—	—	7	19(13)	※	—	—	—
		鹿児島	4	330	10	24(16)	—	—	—	—	7	19(13)	※	—	—	—
	三	宇部	4	330	10	27(18)	—	—	—	—	7	18(12)	※	—	—	—
		荏田	3	330	7	15(10)	—	—	—	—	7	15(10)	※	8	7	1
		長崎	3	330	7	18(12)	—	—	—	—	7	16(11)	※	—	—	—
		三角	3	330	7	19(13)	—	—	—	—	7	18(12)	※	—	—	—
		大分	3	330	7	15(10)	—	—	—	—	7	13(9)	※	—	—	—
		小野田	2	250	6	15(10)	—	—	—	—	6	15(10)	※	—	—	—
		大牟田	2	250	6	15(10)	—	—	—	—	6	15(10)	※	—	—	—
		伊万里	2	250	6	7(5)	—	—	—	—	6	9(6)	※	—	—	—
		佐世保	2	250	6	13(9)	—	—	—	—	6	13(9)	※	—	—	—
		佐伯	2	250	6	10(7)	—	—	—	—	6	9(6)	※	—	—	—
		細島	2	250	6	13(9)	—	—	—	—	6	13(9)	※	—	—	—
		油津	2	250	6	13(9)	—	—	—	—	6	13(9)	※	—	—	—
		唐津	2	250	6	15(10)	—	—	—	—	6	16(11)	※	—	—	—
		臼浦	2	250	6	12(8)	—	—	—	—	6	10(7)	※	—	—	—
		相浦	2	250	6	12(8)	—	—	—	—	6	10(7)	※	—	—	—
		津久見	2	250	6	16(11)	—	—	—	—	6	16(11)	※	—	—	—
名瀬	2	250	6	15(10)	—	—	—	—	6	15(10)	※	—	—	—		
八代	2	250	6	10(7)	—	—	—	—	6	15(10)	※	—	—	—		

(注)船内荷役、はしけ運送又は沿岸荷役が介在しない場所、行為等については各基準は適用しない。

(2)港湾荷役事業

局名	港種	港湾	条件なし			大型機械荷役限定			条件付き		
			取扱量 (万トン)	労働者 (名)	荷役 機械	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	荷役 機械	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	荷役 機械
九州	二	三池	11	57(38)	※	9	※	※	9	40(27)	※
		水俣	10	52(35)	※	6	※	※	6	31(21)	※
		鹿児島	10	51(34)	※	6	※	※	6	31(21)	※
	三	宇部	11	66(44)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		苅田	10	51(34)	※	6	※	※	6	33(22)	※
		長崎	10	55(37)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		三角	10	55(37)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		大分	10	46(31)	※	6	※	※	6	30(20)	※
		小野田	8	46(31)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		大牟田	8	46(31)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		伊万里	6	27(18)	※	6	※	※	6	27(18)	※
		佐世保	10	55(37)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		佐伯	6	27(18)	※	6	※	※	6	27(18)	※
		細島	8	46(31)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		油津	6	31(21)	※	6	※	※	6	31(21)	※
		唐津	10	58(39)	※	6	※	※	6	34(23)	※
		臼浦	10	40(27)	※	6	※	※	6	27(18)	※
		相浦	10	42(28)	※	6	※	※	6	27(18)	※
		津久見	10	58(39)	※	6	※	※	6	34(23)	※
名瀬	6	34(23)	※	6	※	※	6	34(23)	※		
八代	8	45(30)	※	6	※	※	6	33(22)	※		

(3)はしけ運送事業

局名	港種	港湾	条件なし				条件付き			
			取扱量 (万トン)	現場 監督 (名)	はしけ又は 船舶 (積トン)	引船 (隻)	取扱量 (万トン)	現場 監督 (名)	はしけ又は 船舶 (積トン)	引船 (隻)
九州	二	三池	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		水俣	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		鹿児島	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
	三	宇部	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		荏田	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		長崎	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		三角	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		大分	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		小野田	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		大牟田	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		伊万里	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		佐世保	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		佐伯	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		細島	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		油津	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		唐津	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		臼浦	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		相浦	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
		津久見	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆
名瀬	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆		
八代	2.5	1	500	☆	2.5	1	500	☆		

(4)いかだ運送事業

局名	港種	港湾	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	引船 (隻)
九州	二	三池	8	7	1
		水俣	8	7	1
		鹿児島	8	7	1
	三	宇部	8	7	1
		苅田	8	7	1
		長崎	8	7	1
		三角	8	7	1
		大分	8	7	1
		小野田	8	7	1
		大牟田	8	7	1
		伊万里	8	7	1
		佐世保	8	7	1
		佐伯	8	7	1
		細島	8	7	1
		油津	8	7	1
		唐津	8	7	1
		臼浦	8	7	1
		相浦	8	7	1
		津久見	8	7	1
名瀬	8	7	1		
八代	8	7	1		

(5)昭和59年法律第59号附則第3項の規定による届出を行った者

局名	港種	港湾	船内荷役事業				沿岸荷役事業					
			条件なし		条件付き		条件なし			条件付き		
			取扱量 (万トン)	労働者 (名)	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	荷役 機械	取扱量 (万トン)	労働者 (名)	荷役 機械
九州	二	三池	15	36(24)	12	28(19)	10	24(16)	※	5	12(8)	※
		水俣	10	25(17)	8	19(13)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		鹿児島	10	24(16)	8	19(13)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
	三	宇部	15	42(28)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		苅田	10	25(17)	8	21(14)	10	25(17)	※	5	13(9)	※
		長崎	10	28(19)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		三角	10	28(19)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		大分	10	24(16)	8	19(13)	10	22(15)	※	5	12(8)	※
		小野田	8	22(15)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		大牟田	8	22(15)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		伊万里	8	16(11)	8	16(11)	5	10(7)	※	5	10(7)	※
		佐世保	10	28(19)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		佐伯	8	18(12)	8	18(12)	5	10(7)	※	5	10(7)	※
		細島	8	22(15)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		油津	8	19(13)	8	19(13)	5	13(9)	※	5	13(9)	※
		唐津	10	31(21)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
		臼浦	10	21(14)	8	16(11)	10	19(13)	※	5	10(7)	※
		相浦	10	21(14)	8	16(11)	10	21(14)	※	5	10(7)	※
		津久見	10	31(21)	8	22(15)	10	27(18)	※	5	13(9)	※
名瀬	8	22(15)	8	22(15)	5	13(9)	※	5	13(9)	※		
八代	8	21(14)	8	21(14)	10	27(18)	※	5	13(9)	※		

備考(各事業共通)

1. ☆＝左記のはしけを曳航し得るもの
2. ※＝左記の取扱量を処理し得るとして地方運輸局長が認定した荷役機械(労働者)
3. －＝不要
4. ( )内の数値は、事業協同組合の組合員に関する特例を受ける場合に適用される労働者数である。
5. 荷役機械については、基準取扱量の1/2を処理し得る能力を有する荷役機械を自ら所有するか又は保有台数の1/2を自ら所有するものとする。
6. 一般港湾運送事業(いかなる一貫業務を行うものに限る。)及びいかなる運送事業の引船については、基準隻数の1/2を自ら所有するものとする。
7. 荷さばき場に係る基準については、荷さばき場が上屋以外のものであるときは、その面積2㎡をもって荷さばき場の1㎡に相当するものとして取扱うものとする。
8. 荷さばき場及び水面貯木場については、公共用のもの、荷主所有のもの等で常時基準面積以上のものを確実に使用できる場合は、基準面積の保有を免除又は軽減することができるものとする。

## 経過措置

1. 改正法施行時に旧法第4条第1項により現に免許を受けている一般港湾運送事業者等（以下「既存事業者」という。）については、本許可基準の規定は、平成20年5月14日までは適用せず、従前の基準を適用するものとする。  
（本許可基準中、労働者に係る部分に限る。）
2. 条件の付与、変更又は解除を行った事業者、港湾運送事業の譲渡・譲受、港湾運送事業を経営する法人の分割及び港湾運送事業の相続を行なった者についても、既存事業者と同様の取扱いとする。